

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

| | |
|----------|---|
| 受付印 | <input checked="" type="checkbox"/> 調停 家事 申立書 事件名 (特別の寄与に関する処分) <input type="checkbox"/> 審判 |
| | (この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。) |
| 収入印紙 円 | 印紙 (貼った印紙に押印しないでください。) |
| 予納郵便切手 円 | |

| | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|---------|---|
| ○ ○ 家庭裁判所 御中 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 | 申立人 (又は法定代理人など) の記名押印 | 甲 野 花 子 | 印 |
|-----------------------------------|-----------------------------|---------|---|

| | | |
|------|--|-------|
| 添付書類 | (審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 戸籍(除籍・改正原戸籍) 謄本・全部事項証明書 ○通 | 準 口 頭 |
|------|--|-------|

| | | | |
|-----|--------|--|----|
| 申立人 | 本籍(国籍) | 都 道 府 県 | ※1 |
| | 住所 | 〒 ○○○ - ○○○○ ○○県○○市○○町○番○号 (方) | |
| | フリガナ氏名 | コ ウ ノ ハ ナ コ 子 甲 野 花 子 大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 生 平成 (○ 歳) 令和 | |
| 相手方 | 本籍(国籍) | 都 道 府 県 | ※1 |
| | 住所 | 〒 ○○○ - ○○○○ 東京都○○区○○町○番○号 | |
| | フリガナ氏名 | コ ウ ノ ジ ロ ウ 郎 甲 野 二 郎 大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 生 平成 (○ 歳) 令和 | |

(注) 太枠の中だけ記入してください。

※1 本申立てについては、本籍の記入は不要です。

| | | | |
|-----------|--------|-------------------------------|--|
| ※ 相手方 | 本籍 | 都道 府県 | ※1 |
| | 住所 | 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇町〇番〇号 | () 方) |
| | フリガナ氏名 | コウノ サブロウ 甲 野 三 郎 | 大正 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 平成 令和 (〇 歳) |
| ※ 被相続人 | 本籍 | 都道 府県 | ※1 |
| | 最後の住所 | 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号 | () 方) |
| | フリガナ氏名 | コウノ ハルコ 甲 野 春 子 | 大正 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 平成 令和 (歳) |
| ※ | 本籍 | 都道 府県 | |
| | 住所 | 〒 - | () 方) |
| | フリガナ氏名 | | 大正 昭和 年 月 日生 平成 令和 (歳) |
| ※ | 本籍 | 都道 府県 | |
| | 住所 | 〒 - | () 方) |
| | フリガナ氏名 | | 大正 昭和 年 月 日生 平成 令和 (歳) |

(注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、申立人、相手方、法定代理人、不在者、共同相続人、被相続人等の区別を記入してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申 立 て の 趣 旨

相手方は、申立人に対し、特別寄与料として、それぞれ相当額を支払うとの調停を求めます。

申 立 て の 理 由

申立人は、被相続人甲野春子の長男甲野太郎の妻であり、相手方甲野二郎は二男、甲野三郎は三男になります。

申立人は、甲野太郎と婚姻すると同時に、被相続人の希望もあったことから、甲野太郎とともに被相続人と同居を開始しました。

被相続人は、平成〇年〇月ころから、寝たきりの状態になり、家族による介護が必要になったため、申立人は、当時、勤めていた会社を退社し、同月〇日から被相続人が亡くなるまでの間、無償で、被相続人の療養看護を行ってきました。

被相続人は令和〇年〇月〇日に死亡し、申立人は、同日、相続が開始したこと、相手方が相続人であることを知りました。

そこで、申立人は、相手方らに対し、療養看護をしたことによる被相続人の財産の維持、増加に対する申立人の特別の寄与を主張し、特別寄与料として、それぞれ相当額を支払うよう相手方らに協議を申し入れましたが、相手方らはこれに応じないため、本申立てをします。